

2020. 08. 30 賜物よりも敬虔さ（新約聖書第一テモテへの手紙 3 章 1 節～13 節）

<https://www.youtube.com/watch?v=35dqHU-ckws&t=8s>

敬虔は賜物に優る。さて、おはようございます、ようこそ。第二礼拝は、テモテへの手紙第一を通しての聖書の学びです。この手紙を一節ずつ読み進めていきます。今日の聖書箇所は第3章1節から13節までです。もし未だな方はその箇所をお開き下さい。お開きの方で、可能な方はご起立ください。御無理な方は、お座りになったままで結構です。読みますのでついて来て下さい。

使徒パウロは、エペソにいる若い牧師、テモテに手紙を書いています。

テモテへの手紙第一 3 章

「次のことばは真実です。『もしだれかが監督の職に就きたいと思うなら、それは立派な働きを求めることである。』」 -1 節-

「ですから監督は、非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、礼儀正しく、よくもてなし、教える能力があり、」 -2 節-

「酒飲みでなく、乱暴でなく、柔和で、争わず、金銭に無欲で、」 -3 節-

「自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人でなければなりません。」 -4 節-

そして5節では、補足的にこう言っています。

「自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会を世話することができるでしょうか。」 -5 節-

「また、信者になったばかりの人であっては いけません。高慢になって、悪魔と同じさばきを受けることにならないようにするためです。」 -6 節-

「また、教会の外の人々にも評判の良い人でなければなりません。嘲られて、悪魔の罠に陥らないようにするためです。」 -7 節-

「同じように、執事たちも、品位があり、二枚舌を使わず、大酒飲みでなく、不正な利を求めず、」 -8 節-

「きよい良心をもって、信仰の奥義を 保っている人でなければなりません。」 -9 節-

「この人たちも、まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点があれば、執事として仕えさせなさい。」 -10 節-

「この奉仕に就く女の人も同じように、品位があり、人を中傷する者でなく、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。」 -11 節-

「執事は一人の妻の夫であって、子どもと家庭をよく治める人でなければなりません。」 -12 節-

「執事として立派に仕えた人は、良い地歩を占め、また、キリスト・イエスを信じる信仰について、強い確信を持つことができるのです。」 -13 節-

ご一緒に、私たちの理解に神の祝福があるよう 祈りましょう。愛する天の父よ、あなたの御言葉に心から感謝します。今日私たちの前にあるあなたの御言葉の中の この箇所を感謝します。しかし、主よ、私たちは、聖霊が私たちの注意を引き、注意を保ってくれなければ、私たちの心は さまよってしまう事を痛感しています。特にこの箇所ではそうです。敵が私たちに聞かせたくない事が 多くあるからです。ですから主よ、私たちは聖霊によって 私たちの注意を引き、保つだけでなく、私たちの生活の中に語りかけ、あなたが私たちのために用意しておられる真理を、 私たちに教えてください。私たちは、あなたが見せたいと 望まれるものを見る目と、あなたが、私たちに語りかけたいと 望まれることを聞く耳と、あなたが私たちに与えたいと思うものを 受け取るための心を持ちたいです。主よ、お語りください。しもべは聞いております。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。着席してください、ありがとうございます。じゃあ、いきましょ。今日は、クリスチャンとして、生活においても、教会においても、生まれつきの賜物であれ、霊的なものであれ、賜物よりも敬虔さの方が はるかに重要で

あることをお話したいと思います。これが、かなり中身の詰まった、冒頭発言であることは分かっています。これは、才能（賜物）が重要でないと言っているのではありません。それは重要なんです。しかし、才能は敬虔さに取って代わるべきではないと言うことです。悲しいことに、そうになってしまう事がよくあります。それが問題なんです。それは、多くのクリスチャンと、悲しいかな、教会の抱える問題です。外面的な才能に重点が置かれていて、悲しいかな、それで内面的な敬虔さが犠牲になるのです。非常に才能のある、賜物のある人を見ると、いきなりその人に按手して、時期尚早にその人を教会で何かの役職に就かせてしまうのです。すると、今から見ていくように、時間の問題なんです。彼らが失敗するのは当然なんです。彼らは、教会でその地位に就き、奉仕することができるような人格を、内的に持っていないのです。彼らはとても才能があるかもしれませんが、しかし、それは重要ではありません。もし彼らが敬虔な人格を持っていないければ、それは災いのもとです。実のところ、内面的に敬虔な性格を持っていれば、それはやがて外面的にも明らかになります。しかし、問題はここです。才能は、ただそれだけのものです。それは贈り物です。人格、敬虔さは贈り物ではありません。それは実なのです。よく聞いて下さい。実というものは、成長し、熟し、成熟するのに時間がかかります。一方、贈り物は、ただ与えられたものでそのように用いられるものです。もう一度言いますが、内面的な実ではなく、外面的な賜物が強調されています。今日の教会が人格にではなく、賜物に置いている重要性を見れば、分かると思います。それは聖霊の賜物であって、聖霊の実ではありません。ここに事例があります。この例は別の状況で聞いたのですが、何年たっても忘れないものです。内面的な敬虔さは、才能の花火が消えた後ももっと長続きして、消えることのない空の星のようです。7月4日（独立記念日）の光景をご存知ですよ。今年の7月4日ではなくて、過去何年もの思い出です。花火が上がると、それは、それは、うわー、壮観だ！素晴らしい！見事だそして、消えてしまう.... 花火が炸裂し、空を照らしている間、星は見えません。星はまだそこにありますしかし、花火が星を見えなくする。星の代わりとなる。花火が消えると、何が残りますか？ 神が宇宙にちりばめ、名付けた美しい星々... 名前までつけてくださったのです。そして、それが残るものです。敬虔な人格とはそういうものです。敬虔な人格とは、才能の花火が消えた後も長く残る空の星のようなものです。才能は、現れては消えるものです。今日私たちの前にある御言葉の中で、使徒パウロが語っているのはこの事なのです。パウロは教会で奉仕している人たちと、教会の監督を任されている人たちの敬虔な人格と資質を具体的に列挙していますが、賜物については何の言及もありません。才能には全く重点を置いていないのです。このリストにある一つ一つは、... 実は、ここには3つのリストがありますが、それらの一つ一つは、内面的な敬虔な人格に関係しています。では、始めましょう。準備はいいですか？ シートベルトを締めて。さあ始めます。1節から7節までで、パウロはまず、監督者となる者の敬虔な特徴を述べています。さて、どのような翻訳をお持ちかにもよりますが、監督者とは基本的に牧師や長老のことを指し、神の群れの霊的な監督をする人たちのことです。これらは、その職を望む人のための必要条件、言わば前提条件です。パウロは、そういう願いを持つ人達について、ヤコブが言ったのと同じような事を言っています。神がその願望を彼らの心に与え、そして彼らは監督、すなわち牧師、教師としてその職に就くことを望むのです。それは立派なものです。それは良いことです。何の問題もありません。しかし、ヤコブは、そのような立派な職を望む際は、非常に用心して、祈るべきであると警告します。はるかに厳しい基準で裁かれることになるからです。なぜなら、今、あなたは神の民、神の群れを監督しているからです。ここには14の事柄があります。最初のものは、”非難されるところがない”です。どういう意味でしょうか。翻訳によっては、それを”潔白”と訳します。これはしばしば誤解される必要条件です。しかし、”非難されるところがない”ということは、敵が、福音やイエス・キリストの教会を非難する為に使えるようなものが、その人の人生には何もないということです。言い換えれば、彼は非難される余地がないのです。罪が無いわけではありません。これは私たちの多くが、問題を持つところです。非難される点がないのであって、罪が無いわけではないと言うのは、その人にやましい事がないという意味です。彼は、イエス・キリストの教会に、恥も非難ももたらしていません。申し分のない人生を

送っていて、非難されるところがない。第二番目。これも誤解されています。翻訳によっては「一人の妻の夫」と表記されているからです。言い換えれば、「絶対に離婚できない。」「一度しか結婚してはならない。」そのように言っているのではありません。”妻に忠実である”と言っているのであって、それは、一人の女性だけを愛する男として知られているということです。女たらしではありません。これは誠実な男なんです。きっと皆さんもこう言われたり、歌われるのを聞いた事があるでしょう「君しか見えない。ちょっとハミングしてみますので、一緒にどうぞ。彼は妻に誠実な、純潔な男です。それは敬虔な特質です。彼の目は、別の人を求めてさまよいません。三番目は、” 慎み深い”。この男は、もっと良い言い方がないのですが、”ぶれない男 (Steady Eddie)”と言えます。彼は信用でき、頼りになり、気まぐれな人間ではありません。良い日もあれば悪い日もあって、どっちなのか分からなくて、いつもあなたがビクビクしなければならぬような男ではありません。そうではなく、彼は落ち着いています。彼は安定していて、彼は信頼できます。彼は頼りになる。四番目、”自分を制する”この男は、冷静で、監督者としての重大な特権を真剣に受け止めている人です。それは重大な特権なんです。その重大な特権に伴うのは重大な責任であり、それは、この人が真剣に受け止める責任です。第五番目、”品位がある”彼は、規律正しい行動をしている人で、そのため、彼は尊敬に値し、品位があり、非の打ちどころなく、高く評価される性質を備えています。尊敬は、獲得するものですよね？そして、監督者は尊敬を得る必要があります。これはまたしばらくしてから見ることにしましょう。六番目、”よくもてなす”これはフレンドリーな人で、外国人や見ず知らずの人も受け入れます。ドアはいつでも開いています。いつでも相手になってくれます。七番目。これはおそらく、最も誤解されているものと肩を並べるものでしょう。我慢してくだされば、これを説明したいと思います。“教える能力がある”

さて、これは彼らに教える賜物が備わっている必要がある事を暗示しています。教える事ができる。私は、これは、才能（賜物）のことではないと考えます。これは、敬虔さのことです。なぜなら、教えることが出来るためには、先ず、自らが教えやすい人間でなければならぬからです。これは、ことば遊びですね。教えやすい (Teachable)。それは、内面的な敬虔な特徴です。教える前に、また、教えることが出来る前に、教えられる事の出来る (teachable) 人のことです。自分が教えられないなら、どうして教えることが出来るでしょうか。私たちは何年も前に本土で あるアクロニム (頭字語) を使っていました。...怒らないでくださいね。でも私たちは デブを募集していました。だから私には資格があったわけで 牧師になれたんです。デブ、その頭字語は、F・A・Tです。信心深い； (Faithful) (他者のために) 時間がある； (Available) 教えやすい； (Teachable) 私たちは按手をしようと、そういう人を探していました。イエス・キリスト教会の中で仕えるのは、とても重大な特権にあずかる事ですから。それをさらに一歩進めたいと思います。私は今朝、このことについて考えていました。”同意しない”という言葉。いいですか？ 私が「同意しない」という言葉を使っただけで、すでに誰もが二極化しています。「いや、私は同意しない。」同意しないんですか？「しません。」あなたは同意していない。私は同意しません。ほんとですか。私はふさわしくない。あなたは神ですか？私はここで、誰かを批判するつもりはありませんが、最後まで聞いてください。尊大さ、傲慢さ、高ぶり...「あなたは私の立場に同意しない」と言う 悪臭のする誇り。まず、愛をもって冷静に言わせてください。それは、誰かが自分に同意してくれるか どうかではなく、あなたは神と一致しているのか、という事です。「あなたは誰の味方なのか？」政治論ときたら…特に今は。私は、第一礼拝の預言アップデートで話しました。私は人々を、共和党员と民主党员、右/左、保守派/リベラル、黒人/白人とは見ていません。私は彼らを、救われてないか、救われたかの どちらかと見ていますそれが肝心です。ブラック・ライブズ・マターみたいなことになると、これが教会の中で引き起こしている分裂！教会の中で！教会の中で！それは教会を分裂させ、破壊し、むさぼっています。なぜなら、急に、私たちは どちらかを選ばねばならないからです。「あなたは誰の味方ですか？」あなたが誰の味方なのかは、関係ありません。

あなたは神の味方ですか？ 重要なのはそれだけです。ああ、私たちは意見が食い違う。かまいません。私たちは神と同意していますか？ 主自らがヨシュアのもとを訪れたとき、ヨシュアは主に尋ねます。「あなたは誰の味方なのですか。」主は彼の質問に答えもしません。主は、わたしはお前の味方だとか 敵の味方だとは言われない。主は基本的に、「わたしが誰の味方かは問題ではない」と言われます。「あなたはわたしの味方なのか」とあまり良い表現がないのですが、それは パラダイムシフトです。差し支えなければ、もう一步踏み込んでみます。もう自分でこの穴を掘りかけてしまったので。イエスが2020年の今、ここにいたらと、想像できますか？ オーケー、今皆さんの答えを頂けたと思います。なんと。彼は何と言うのでしょうか？ 彼は何をやるのでしょうか？ 彼はどこに行くのでしょうか。もし私たちが本当にそのように見れば、私たちはひれ伏して悔い改めるでしょう。もしイエスがソーシャルメディアを使っていたとしたら？ ちょっと考え過ぎですかね？ イエスは何とツイートすると思いますか？ いいえ、マジで。イエスは何をツイートするのでしょうか？ どんなハッシュタグでしょうか？ ふむ.....これはどうでしょうか？ イエスがあなたのツイターの アカウントを見たら？ 今すぐ頭を下げて目を閉じて 祈って終わりにしましょうか？ 自分の罪にどれほど気づかされるのでしょうか。事実、イエスはそうされるのです。彼は全ての投稿の、全ての言葉の、すべての文字を見えています。どうなのでしょう？ それは彼を悲しませるのか、それとも彼の栄光をたたえるのか？ あの...たぶん、あなたもそうでしょうが。私はその事を知っています。神の恵みによって、ありがたいことに、それに関与はしていませんが。私は自分が敬虔な男だと 気取っているわけではありません。私の妻に尋ねてみてください。彼女はすぐに修正してくれますよ。私はそれを超越してません。確かに、やった事があります。自慢ではありませんが。しかし...私はクリスチャンの、ソーシャルメディア上での 悪質さ、下劣さ、悪意、邪悪さを耳にしています。そして、彼らは自分の主張を一步も譲らない。彼らは正しく、あなたは間違っている、と。そして、彼らと礼儀にかなった会話をしようとして、「あなたは間違っている」と言ってみるとしたら、彼らはそれを受け入れるのでしょうか？ そうは思いません。彼らは、教えられる事が出来ない。だから...もう一步踏み込んでから、先に進もうと思います。いいですか？ あなたが誰かと、何かについて、意見の 食い違いがあるとします。申し訳ありませんが、たぶん、何かすごく愚かな事について。はい、”愚か”と言いました。”愚か者”は聖書の中にあります。箴言12章1節、私はそういう事にしています。愚かです！それは愚かです！ 何をしているんです？ それはとても愚かです！ そして、同意しないからと言って、何時間も議論したいんですか。まあ、それは私の意見ではありません。あなたの意見などどうでもいいでしょう?...聞いたことがあるんですが...これは1900年代初頭の、ビリー・サンデーという 有名な伝道師の事です。ビリー・グラハムより前です。「ビリー」という名には、何かあるんですかね。彼の働きで多くの人がキリストに導かれたのですが、しかしある時、一人の女性が彼のところに来て、こう言いました。「あのね、ビリー、伝道師、あなたは私の神経を逆なですの！」彼の応答は...「もし、私があなたの神経を逆なでしてるなら、あなたは、正しい方向に向き直らないと。そうすれば、私があなたを逆なでする事はない。」あー、いいですね。これはいい。猫の撫でる方向を 間違っているようなものですよ？そこで、あなたの意見が合わないとしましょう。あなたは傲慢になり、高ぶって、頑固になって、執着し、あなたはさらに 自分の意見に固執します。「ちょっと待ってください。もしも、あなたが間違っていたら？」そんなことはない！彼らが間違っている！私は正しいです！私は正しい側にいる。「そうなんですか？へえ...」あなたがそうする時、どうなるか、知っていますか？ まず第一に、教えやすくなるなんて、忘れて下さい。忘れてしまって...ところで、謙虚さは教えやすい事と 同居しています。自らをへりくだらせて、こう言うことです。「たぶんこの事を再考する必要があるかもしれない。」「あなたの意見を聞かせてください。もしかしたら私が間違っていたかもしれない。」あなたが最後に、実際にキリストにある兄弟姉妹と 意見の相違に巻き込まれたのはいつでしたか？ 意見の相違ではなくても...そして、あなたは進んで...何を言うか、準備する代わりに...彼らが話していて、あなたは相づちを打っていますが、彼らの話を聞いてもいない。なぜなら、あなたは彼らに対する 反論を準備しているからです。彼らに何を

言うか。実際、自分が言いたい事を分からせるために、彼らの言葉を遮ることさえあるでしょう。あなたはもしかしたら、彼らに耳を傾けるべき かもしれないと思ったことがありますか？ 彼らの話を聞くのです。「でも、私はそれは信じない。」 いいですよ。なぜ？ 何が分かるか知っていますか？ それはおそらく、あなたが気づくよりも 頻繁に起こることですが、その過程において、あなたは聖霊に働く余地を与えているのです。そして聖霊は、その人がどこにいて、その人が どこで間違っているのか、あなたがどこにいて、あなたがどこで間違っているのかを 正確に知っています聖霊は、私たちには出来ないことができるのです。ですから、時にはそれは、ただ、へりくだらせる事かも知れません…そして、これは聖霊の実ではないでしょうか。聖霊の賜物ではありません。賜物の外面的な顕現、すなわち知識の言葉、預言、異言… すべての賜物… いいえ、これは実です。全く異なるものです。愛、喜び、平和、優しさ、直ぐ、この件に触れますが、その箇所に到達できれば…優しさ、柔和さ、自制心。監督の職を求める人の最も重要な特徴の一つは、彼らが教えやすい人間だということだと思います。彼らが謙虚であること。自分が間違っていた時、それを進んで認めるということ。それは簡単ではありません。特に男性には。絶対無理だって感じます。絶対ダメ。だから、私たちは道を尋ねないんです。そうなんです。迷っているのを 認めようとしなからず…「道順は分かっている。」5時間後。「俺は迷ってないぞ!...」GPSは使わないの？「ダメだ!」プライドがすごく高くて、誤りを認められない。「あのね、私は完全にしくじってしまった。」なんということ。少しだけ結婚の話をしてもいいですか？ 旦那さん方、あなたの奥さんだったら、どうしますか？ 夫婦間で意見が合わない時、前にも言いましたが、牧師はそうは呼びません。私たちはそれを「激しい交わり」と呼んでいます。あなたが対立している時…もし、あなたがこう言ったら、奥さんはどうするでしょう？「あのね、ハニー…」「そんな風に考えたことはなかったよ。」「そういう見方をした事はなかったよ。」「ごめんね。」「ねえ、僕が間違っていたよ。」「間違っているのは僕だ。」奥さんたちはあなたを見て「私の夫に、いったい何をしたのよ？」と言うのでしょうか？「私の前にいるこの男は、いったい誰なの？」教えられることが出来る、教えやすい。八番目です。これは厄介です。”酒飲みでない” どういう意味なのでしょう？簡単に言えば、酔っ払いでない人という意味です。ワインでも、強いお酒でも、アルコールにはまっけないことです。九番目。 ”暴力をふるわず、温和です”これは、意地悪でも無礼でもなく、思いやりがあって優しい人のことです。男性の皆さん、私たちは 紳士(ジェントルマン)と呼ばれます。あらあら、ジェントル・マン(温和な男)。それは、あなたのことですか？ あなたに当てはまりますか？ あなたも私も、温和な男ですか？ 箴言を通しての学びで、優しさこそが大きなインパクトを与えることが出来ることが、明らかとなりました。柔らかな舌は骨を砕く。[箴言 25:15] あなたが腹を立てていて、意地悪な時？ いいえ、柔らかさ(温和さ)です。優しさも聖霊の実ではありませんか？ 第十番目。”争わない”私はこれは、争いを求めている男だと思います。ただ、争うのが好きな男たちがいます。私はそれは、アドレナリンだと思います。率直に言えば、アドレナリン中毒のようなものがあるんです。なぜなら、闘争・逃走モードにあるとき、そのアドレナリンがとても強く、それはとても強力で、無敵の気分させます。それは神から与えられたものです。でも極端になると、あの感覚、アドレナリンにハマってしまうこともあります。そして、真剣な議論になると…ただ争いを求めているんです。あのアドレナリンの放出を求めているから。アドレナリン中毒者がいるんですよ。”争い”という状況ではないかもしれませんが、だから、飛行機から飛び降りるような ことをする人がいるのです。それは、アドレナリン・ラッシュです。なぜ私たちはウォーターパークに行き、内臓の配置を 全て変えるような乗り物に乗るのだと思いますか？ そういえば、前回ウォーターパークへ行ったのは 何年前だったかな？ 娘が、「ねえパパ、この乗り物に乗ろうよ。」と言います。私は乗り物を見て、ダメだ、ダメだ、ダメだ。乗り物から降りるとき… ああ、祭り(フェア)の時、ステート・フェアがある時…あの乗り物があります。私たちはファラオと呼ばれる乗り物に乗りました。それはエジプト風のもので、この大きなものが…私の中のエジプト人の血のせいでしょう、よくわかりませんが…それは上にあがり、こっちに上がり、 どんどん速くなり、見ていると、「ああ、あれなら俺にもできる」と思います。それに

乗ると、「俺は何をしているんだろう。」降りる時には、「これが私の腎臓で、これが私の肝臓だといいな。正しい所に戻ってる。」感触を確かめながら... アドレナリンなんです。私たちは、とても注意する必要があります。争いを探す事、争いを望むことに関して。またソーシャルメディアの話ですが.....それはアドレナリンなんです。そして、それはプライドによって駆られています。第十一番目。 ”金銭に無欲” これは、お金のためにやる人ではありません。貪欲ではありません。彼らはお金を愛していません。第6章で見るように、諸悪の根源... おそらく 聖書の中で最も誤って引用される聖句の一つです。それは金銭を「愛する」事であり、 お金ではありません。聖書預言アップデートで話したように、 お金は中立です。それは道徳を超越したものです。あなたはお金を不道徳な目的のために使うことも、 また、道徳的な目的のために使うこともできます。お金でもまた、アドレナリンが放出されます。監督する者は、決して、金に依存するべきでなく、 金銭を愛するべきではありません。 金のために監督するべきではありません。 そうだ、聖職につこう。かなり実入りがいいらしいから。私のメールアドレスを教えます。 それについてお話ししますよ。断言しますよ。 あなたがお金のために聖職につくなら、あなたはおそらく、長くは続かないでしょう。第十二番目。 ”自分の家庭をよく治める” これは、妻から尊敬されている人です。彼の子供たちが彼を尊敬し、彼に従い、彼を神の人、敬虔な夫、敬虔な父として見ています。完璧な父親ではなく、完璧な夫でもありません。でも、敬虔な夫です。要するに、あなたが家庭を治めることができないなら、 どうやって教会で奉仕するのかということです。自分の家族を管理できないのに、 どうやって教会で管理するつもりですか？ 十三番目はとても面白いです。 ”信者になったばかりの人であってはいけません” なぜでしょうか？ 繰り返しますが、準備不足の人を早々にリーダーの座に座らせてしまうと、それは彼らをつけあがらせ、 あなたは彼らの転落に加担してしまうからです。彼らの転落は、あなたのせいです。あなたが、性急に誰かに按手をすると...このように見えます。あなたは誰かをその立場に置くが、彼らにはそのための人格がない。彼には才能があるかもしれない。「私たちは彼が居て幸運だ！」あなたが何を求めるか、気を付けた方がいい。私は外見的に才能のある人よりも、むしろ、内面的に敬虔な人がいいと思います。なぜなら、彼らはまもなく崩れ、つまずき、失敗し、転落するからです。あなたはお膳立てしてるんです。なぜなら、敵が来て、彼らにこんな思いを吹き込むからです。「ねえ。彼らはあなたに鍵を一式くれたぞ。」ああ。鍵というものは...変化と言ったら...私はここの誰かについて話してのではありません。本土で。私はいつも本土の例を使います。誰かに鍵を渡して、あなたが教会に着くと、彼らは鍵を取り出して..「中に入りたいの？鍵なら私が持つてるから。」 「エーッ、鍵を持っているの！」と....それは権威です。「まあね、私の執務室に来る？」 「執務室もあるのですか！！」彼らは膨れ上がって、うぬぼれます。そして、こうするんです。彼らは、自分でやったと思うんです。そしてサタンが傍にいて、それを補強している。ホー！君は特別な存在だ！！ わかっています。ありがとうございます。ありがとう....またしてもここに高ぶりがあり、高ぶりはいつも滅びに先立ちます。霊的な成熟は、...それが贈り物のように、あなたがただ受け取るだけのもので あつたらといいのにとおもいます。しかし、それは実であり、それは時間の経過とともに成長する必要があります。そして、根が、深く強くなくてはなりません。ですから、高ぶりや誘惑の嵐が来たときに、あなたが立っていることが出来るように。それは成熟に伴うものです。だからこそ、監督としての座に着くことができるような人格を内面に持っていない人には、いきなり按手をしてはいけません。最後に十四番目。”教会の外の人々にも 評判の良い人でなければなりません” これは非常に重要なことです。この人は、教会の外で、信者ではない人からも 良い評判を得ている、優れた人格の人です。彼はその健全な人生と、曇りの無い誠実さで知られるでしょう。これは、”非難されるところがない” という資格に戻ります。8節から10節の執事について話しましょう。執事の役割は何でしょうか？彼らは「ディーク」します。(笑)申し訳ありません。皆さんがまだ聞いているかどうか 確認したかっただけです。監督者は霊的監督の仕事があります。執事は物理的な監督権があり、教会のニーズに奉仕しています。その最たる例が、

## 使徒の働き 6章



1「そのころ、弟子の数が増えるにつれて、ギリシア語を使うユダヤ人たちから、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情が出た。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給においてなおざりにされていたからである。」

対立があります。どうでしょうか。

2「そこで、十二人は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。『私たちが（監督者として）神のことばを後回しにして、食卓のことに仕えるのは良くありません。』」

我々の監督は、霊的な監督です。ヘブル語を使うユダヤ人やギリシャ語を使うユダヤ人の物質的なニーズに応えるために、物理的な監督と奉仕をする者が必要です。

3そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、（よく聞いて下さい）御霊と知恵に満ちた（前提条件があります）、評判の良い人たちを七人選びなさい。その人たちにこの務めを任せることにして、私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。

それが、監督、霊的な監督者として彼らに召された役割でした。さて、ここでもう一つ質問です。女性は執事になることができますか？ はい、なれます。その人達は婦人執事と呼ばれています。婦人執事です。

#### ローマ人への手紙 16章

1私たちの姉妹で、ケンクレアにある教会の奉仕者（女性執事）であるフィベを、あなたがたに推薦します。

2どうか、聖徒にふさわしく、主にあって彼女を歓迎し、あなたがたの助けが必要であれば、どんなことでも助けてあげてください。彼女は、多くの人々の支援者で、私自身の支援者でもあるのです。

これは、大きな問題です。先週もこの話をしました。「女性は教会の牧師になってはいけない。」だからといって、女性が教会で奉仕しないということではありません。婦人執事というような役割を担うことができます。彼女らは、物理的なニーズに仕えることができます。教会の女性たちを神に感謝します。先週もお話ししましたが、男性がリーダーとしての責任と神から与えられた権威を放棄した場合、教会であれ家庭であれ、女性はその責任を負わざるを得なくなります。彼女たちが責任を取らなければ、男性は責任を放棄したから、彼女たちが責任を取らなければ、すべてが崩壊してしまうからです。女性は教会内のミニストリーで非常に重要な役割を果たしています。では、執事や婦人執事の必要条件は何なのでしょう？ 一番目です。“品位がある”。やはり、神と人の両方に対して適切な敬意を示し、そのため、尊敬に値する者です。これはちょっと「教えられる」と「教える能力がある」のに似たことです。尊敬される人は、他者を尊敬する人でもあります。私が尊敬されるとしたら、それは私が尊敬の念を示しているからでしょう。逆もそうです。逆に私が尊敬されない場合は？ それは、私が他人を尊敬しないからでしょう。それも本当なんです。第二番目。“二枚舌を使わない”二枚舌ではない人。矛盾する事を言わない人。言う事とする事が違う...つまり、このグループの中では、その人たちに合わせて、こう言います。そして、こっちの別のグループの中では、彼らに合わせて、違うことを言うのです。それは二枚舌です。それは不誠実で、不正直です。三番目。またしても、“大酒飲みでない”酒に飲まれない人。「クリスチャンはワインを飲んでもいいのか？」というような話はしたくありません。私はまだマスク問題を扱ってます。今、ワイン問題まで扱うつもりはありません。それでいいのでしょうか？ お願いします... 酩酊する事、酔っぱらう事です。我々は、アルコールや、酔っぱらう事に依存することはできません。第四番目。“不正な利を求めない”繰り返しになりますが、そこから得られるもののために携わっているわけでない人です。彼らの目的はそれではありません。五番目。“きよい良心をもつ人”彼らは、明確な良心をもって、深い真理を保持し続ける必要があります。これは、教義的に健全な人で、真の信念、明確な良心から生まれた本物でなければなりません。これは、教義上の神の御言葉の重要性、それが最も重要なことを語っています。これは監督者ではなく、執事のことです。執事です。ちょっと待って、私はトイレを掃除するだけです。ここで、別のポイントが持ち上がります。忘れないうちに言うておくべきでしょう。私は忘れますから。監督がここにいる、執

事がここにいるわけではない。いいえ！ 実際には、それは逆だと言えます。羊飼いがここにいる、そして、あとはみんなその上...それは、トップダウンが反転した世界の概念です。CEO（高経営責任者）がいて、その下の 下っ端たちは、取るに足らない存在です。そのようなものではありません。キリストのからだの中では、私たちは皆、同じからだの異なる部分が一緒に 組み合わせられているのです。”呼び集められている”ことを、言いましたかね？ 皆さんの表情からして…呼び集められる（組み合わせられる）のと、集合の違いが分かりますか？ 私が今まで聞いた中で最高の説明があります。

腕時計があります。その部品を、全部集めますそれは集まりました。何も動かず機能してませんね。ただパーツを集めただけです。でも、それらを組み立てると、今は時計として機能するんですね。私たちは集まる（組み合わせられる）ことを 怠るなど命じられています。キリストの体が一緒に組み合わせられた時、全ての部品が機能し、神の意図通りに動作します。パウロが、コリント人への手紙で語っているのは このようなことなんですね。あなたがキリストの体の鼻だとしたら... 私は、おそらくキリストの体の鼻でしょう。私は大きな鼻と大きな口を持っています。多分私は、キリストの体の大きな口だと思えます。しかし、体の一部に、体の他の部分を見て 非難させてはいけません。「お前はいらぬよ。」足の親指を見て、「お前は要らぬよ。」足の親指は言います。「そうかい?」「さあ、見てろよ。」そして足の親指がいなくなると、あなたは倒れてしまいます。「私は、バランスを保つために、どれほどあの足の親指が必要だったか 分かりませんでした。」「あなたなしでは歩くことができません。」それがポイントです。さあ、私が要るでしょ？ 私も今あなたを必要としています。 ですね？ キリストの体とはそういうものです。すべての部分が重要です。実際、パウロは見苦しい部分、取るに足らないように 見える部分の方が、注目されてスポットライトを 浴びている部分よりも価値があると主張しています。あの時計は嫌い。時計を見ないでくださいよ。私はちょうどその比喻を使っただけです。もう時計を見てはいけません。私はここに立って、あの照明が明るくて、ハゲ頭がそれを反射しているのを知っています。皆さんは私を見ています。しかし、皆さんが何を見てないか、知っていますか？ それは舞台裏の、他の人たちです。彼らには、スポットライトは当たりません。彼らはたゆまず、忠実に奉仕します。彼らはとても重要です。もし、彼らがこの信者のからだの中で 機能していなかったなら、今すぐ私を家に送り戻して下さい..... だって、いったいどうすればいいんです？ とても重要です。私たちは皆同じ体の一部です。誰かを、決して誰かより劣った存在として 見ないでください。この優越感...これは ロックスターの牧師の話になってしまいます。私がどう思っているか、分かりますよね？ 新しい方のために説明した方がいいでしょう。私が本土のカンファレンスで講演した時、皆が私のところに来て「すごいな JD、君はロックスターだ」と言うんです。私は「そんなこと言わないで!」「聖書にサインを...」駄目だよ!!そんな言い方はしませんが..神がすでにサインされました。私が書いたんじゃない。彼が書いたのです。 何で私がサインする必要があるのか？ やはり、そんなことは言いませんが、もし私がそんなことを言ったら、彼らはどれほど打ちひしがれるでしょう。でも...

牧師は、台座の上に置かれ、尊敬されますが、彼らはそこに属するものではありません。「有名」という言葉は使いたくありませんが、よく名の知られた牧師たちがいます。突然、彼らはお互いに意見が合わなくなります。...「彼らは同意してない!」どうしたんですか。あなたが彼らに目を向けているのであれば、見るべきものを間違えています。なぜ彼らをそんな立場に置くのですか？ その立場にあるべき者は、神ご自身以外にはいない。有名な牧師が、特定の事柄や問題について一致していないとき、私はそれが健康的なことだと思えます。繰り返しますが、救いの問題を 扱っているではありません。「一緒に集まろう、議論する必要がある。」いや、そんな必要はありません!我々は一致しているか、という問題ではなく、やはり、私たちは神と一致しているか という問題です。それは、時に、健全なダイナミックだと思えます。私自身の事を含めますが、それは、私たちが 最初から上がるべきではない台座から 降ろされることになるからです。六番目。 続けましょう。彼らはまず審査を受けなければなりません。これもとても大切なことです。彼らはまず、自己の能力を証明せねばなりません。自分たちが適していることを、 善良で、敬虔な行いによって示す「証明のプロセス」があります。これは、破るこ



とのできない原則です。これに逆らおうとすると…私は痛い思いをして学びました。それを証明する傷跡を持っています。特定の状況で彼らがどう反応するかを見る機会がなかった人を、何らかの役につかせるんです。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。(ルカ 6:45)

彼を白熱した状況に置いてみて下さい。それがミニストリーの日常ですけど。彼らが、どのように反応するかを見て下さい。これが起こった時、彼らがどうするか見て下さい。それは起こりますから。彼らがどのように反応するのか見てみたい。彼らの姿勢はどのようなのだろうか？ 彼らの態度はどうだろうか？ 彼らは自分自身を証明する必要があります。さて、ここで終わりにしましょう。女性、パウロは11節から13節で女性に目を向けています。その際、彼は執事と婦人執事の資格をまとめています。またしても第一項目、品位がある人。それについては話しました。きちんと敬意を示すこと。尊敬するという事は、尊敬されるということです。尊敬することは、尊敬されることです。第二番目は注意したいと思います。悪口を言わない。彼が女性にこれを書くのは興味深いです。誹謗中傷せず、陰口を言わず、告げ口をせず、噂話などはしません。原語のギリシャ新約聖書でこれが文字通り何と訳されるか知っていますか？「悪魔のものではない」…私がそう言ったのではありません。悪魔とは何でしょう？ 極悪非道、告発者、偽りの父、混乱の作者。それが彼の正体です。そんな風になってはいけません。新約聖書の学びでも話しましたが、パウロはイエス・キリストの教会の神の民の中に、決して数え入れられるべきでない、不道徳な特徴をリストアップしています。性的に不道徳な人、殺人者、姦通者などですが、その中に、噂話(ゴシップ)をする人が含まれているの信じますか？ 何だって！噂話が、性的不道徳や殺人と同じくらい悪いってこと？ そうなんです。どうしてそうなるの？ さて、イエスは何と言いましたか？「あなたがたは人を殺してはならないと言う。あなたが、その悪質で卑劣な口の中の醜い舌で誰かを傷つけ殺すとき、それは殺人と同じなのです。」死と生は舌に支配される。(箴言 6:45) これは大きな問題ですので… この辺で置いて、後は聖霊様にお任せします。私は、これが原因で教会が破壊されたのを見たことがあります。私は、結婚生活が破壊されるのを見てきました。家族が壊されるのを見てきました。私はこれが原因で、教会や神に関わる物事とは何の関係も望まない子供たちを見てきました。あなたが誰かを中傷するとき、あなたは彼らの無実が証明されるまで、彼らを罪に定めるのです。あなたは絶対に彼らの無実を証明する事はありません。すでに自分の心の中で裁判官となり、陪審員となっているからです。あなたがそれを聞く側になった時、それを受ける側になった時、誰かの広めた噂話を聞いたり虚偽の告発や誹謗中傷を聞いた後、あなたはその人たちのことを二度と同じ目で見ることはないでしょう。それくらい危険なことなのです。ヤコブがこのことについて語っています。舌は火災を引き起こします。私たちは野生の獣を飼いならすことができます。私たちは大きな船を制御することができますが、でも、私たちはこの小さな肉を制御する事ができません。神はそれを中に閉まっておくために、歯と呼ばれる白い杭柵をくださいました。第三番、すべてのことに節度を持つ。これはまた、信頼できる、頼りがいのある女性です。日毎に気分がアップダウンするような不安定な人でなく。もしあなたが私のような人だったら、一私はそうだと信じますが、…あなたはおそらく心の中でこう考えているでしょう。なんということ…これが…監督者のための14の資格とは！！これは難しい注文です。これが要求されているとしたら、私が適格になるなんて、どうして可能だろう？それは、実際には良いことなのです。なぜなら、神が私たちをこういう状況に導いて下さいます。そこでは、私たちは基準となるものを見て、ゴールがどこにあるのかを見て、手を上げて、「私がそれに到達できるはずがない」と言います。すると神は言われます。あなたに無理なことは分かっているが、わたしには出来るのだ。あなたを通して、あなたの中で、あなたの代わりに。どうやって？ 私たちに聖なる言葉を行うことを可能にし、その力を与えてくださるのは、聖霊によるのです。そうやってです。真の敬虔さが生じる奥義は、イエス・キリストにあり、パウロはこの章の最後でそれを説明しています。主のみこころであれば、来週です。待ち遠しいです。実際、パウロは教会のこと、教会の重要性について話しています。御心ならば、来週は、私たちが教会の中で、教会として敬虔に行動することが、いかにして可能なのかを見ていきましょう。そして教会が、敬虔で聖なるものであらねばならない時があるとす

れば、それが 今であることに、皆さんも同意すると思います。イエス・キリストの教会ならではの 敬虔さの奥義は、イエス・キリストなのです。それがプロセスにおいて実現されるのではなく、一人の人において実現されている という点においてです。どうか、今日の説教の何も聞いていなくても、これをだけは聞いてください。今日、「ああ、大変だ。もっと頑張らなくちゃ」と 考えながら、教会を出ないでください。カムハイウェイまでは行けますが、そこで失敗します。 特にお子さんがいる場合は。もっと頑張るのではありません。頑張るのではありません。信頼するんです。あなた自身がそれをする ことは 絶対に出来ません。それが要点です。「私にはできませんが、神にはできます。」と 認識するのです。ですから神は、私の代わりに私の中で、この聖なる生き方をせねばならないのです。聖書の中で、「あなたがたは聖なる者でなければならない。 わたしが聖だからである」ペテロの手紙第一 1:16 と言っている箇所に、本当にハッとさせられます。オーケイ、さっそくやってみよう。今日の午後から始めます。 いや、やらないでしょう！神は私たちに命じられた事を、 私たちが実行できるようにして下さることなく、 私たちに何かをするように命じられる事はないのを 忘れないでください。彼はそうしない事はできません。 一二重否定でまともな英語じゃないんですが一しかし、繰り返しになりますが、神は私たちの失敗に加担することはできません。主は常に私たちのクリスチャン生活の中に、 私たちが主に従うことを助ける環境を 作ってくださるのです。不従順になるためでなく。 神は私たちが脱落するように仕組まれたりしません。だから、神は私たちに聖となることを命じ、 その命令と一緒に、力を与えて下さるのです。神の召命は、神が力を与えるものなのです。主は、常に、私たちに召されたことを、 出来るようにしてくださるのです。最後です。 これで終わります。キリスト教と、他のすべての偽宗教の違いは 何かを知っていますか？ なぜなら、イエスが道であり、真理であり、命であり、 イエスを通してでない父のもとには 誰も来れないのなら、だいたい決着がつきますよね？ 仏教は外れ。イスラム教も外れ。他の宗教は全て外れ。 なぜなら、それで決着がつくからです。イエスが唯一の道。イエスが唯一の真理。イエスが唯一のいのちですから。そうですね？ なぜ？どのように？ 宗教、偽りの宗教は、人間が神のために 何をするかについてのものだからです。しかし、キリスト教は、神が人間のために すでになさった事についてです。それが違いであり、それで決着がつくはずで。それが、神が聖であるように、あなたと私が 聖なる人生を送ることができる唯一の方法です。それしか方法がありません。 立ってください、祈ります。皆さんのご忍耐に感謝します。もう時計を見てもいいですよ。主よ、感謝します。ああ、天の父よ、本当にありがとうございます。これは、非常に良いものです。それは私たちを 再修正し、あの重りなわに合わせて、 私たちを位置づけ、順応させるからです。これがあなたの義の標準です。私たちがこれを再確認するのは、 とても良いことです。なぜなら、私たちは知らず知らずのうちに、 この基準からどれだけはみ出していたかに 気づかないことが多いからです。それは、言い訳にはなりません。説明がつくかもしれませんが... 主よ これは私たちの人生のゴールポストが どこにあるのかを思い出させてくれます。この教会で、あなたの民として。主よ、私たちの生活の中で この実を成熟させてくださる聖霊様に感謝します。イエス様の御名によって、 アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7